

授能率の増進を圖り、又演習制度の擴充等大學教育の刷新を行ふべきである。

(2) 訓育施設の充實徹底 大學における訓育の徹底を期しその施設を充實し或は寄宿寮を整備し學風作興の中心たらしむべきである。

(3) 大學院の刷新充實 學術文化の高度の進展を圖るためには最高研究機關として大學院の制度に根本的檢討を要する、即ち學生の量と質において一大擴充向上を圖りその研究施設を充實しまた指導教授の職制を設け専任教授を特設するのみならず、給費制度の設定その他により國家として積極的に學徒をしてその研究に専念するを得しむるの施設をなすの必要がある、なほ大學院の刷新充實と相關聯して各種の研究所につきその施設を整備擴張するの要があるものと認むる。

昭和十七年七月末現在關東州人口の發表

昭和十七年七月末現在の關東州人口は關東廳より左の如く發表された。

昭和十七年七月末現在人口概要

昭和十七年七月末の關東州に於ける總人口は一、五四六、五九四人で前月に比し二、九四五八(人口千に付二人)を、前年同月に比し九〇、六五四人(人口千に付六三人)を孰も増加した。

國籍	昭和十七年七月末	昭和十七年六月末	昭和十六年七月末
内地人	三九、九四四	三九、六六六	三二、四七七
朝鮮人	六、六九三	六、六〇六	五、九八一
滿洲人	一、三二七、九九七	一、三二五、七九〇	一、三三六、六八一
外國人	一、六五〇	一、六三七	一、七七一
計	一、五四六、五九四	一、五四三、六四九	一、四五五、九四〇

(男女別)總人口を男女に分つと男は八八九、五五九人で總數の五割七分を占め、女は六五七、〇三五人で四割三分に當る。即ち男の女に超過すること二三二、五二四人で女百に付男一三五・四人に當る。之を國籍別に觀ると滿洲人が、最高率で一四〇・一八、並いで朝鮮人の一一七・四人、内地人の一一一・七人、外國人の八八・一人の順位であつて、外國人のみ女超過である。

而して男女を前月に比すると男は五八〇人(人口千に付〇・七人)、女は二、三六五人(人口千に付三人)、又前年同月に比すると男は五四、四三三人(人口千に付六五人)、女は三六、二二九人(人口千に付五八人)を孰も増加した。既往一年間の増加數、増加率は共に男が高

國籍	男		女		計	女百に付男
	内地人	朝鮮人	滿洲人	外國人		
内地人	二六、〇〇〇	三、七〇〇	二〇、三九四	三、三三三	二九、九四四	一一七
朝鮮人	六、六九三	五、九八一	六、六〇六	五、九八一	一三、二七四	一一七
滿洲人	一、三二七、九九七	一、三二五、七九〇	一、三二七、九九七	一、三二五、七九〇	二、六五三、五八七	一四〇・一
外國人	一、六五〇	一、六三七	一、六五〇	一、六三七	三、三〇〇	一四〇・一
總計	一、五四六、五九四	一、五四三、六四九	一、五四六、五九四	一、五四三、六四九	一、五四六、五九四	一三五〇

(國籍別)總人口を國籍別に觀ると滿洲人最も多く一、三二七、九九七人で總數の八割五分を占め、並いで内地人二九、九八四人(一割五分)、朝鮮人六、九六三人(零五分)、外國人一、六五〇人(零五分)の順位である。之を前月に比すると滿洲人は二、二〇七人(人口千に付二二人)、内地人は三、三六八人(人口千に付二人)、朝鮮人は三五七人(人口千に付五人)、外國人は一三人(人口千に付一人)を孰も増加した、又前年同月に比すると滿洲人は八一、三二六人(人口千に付六六人)、内地人は八、四九七人(人口千に付四〇人)、朝鮮人は九八二人(人口千に付一六四人)を孰も増加したが、外國人のみは一四一人(人口千に付七九人)を減少した。既往一年間の増加數、増加率は共に滿洲人が多い。

國籍	人口	百分比
内地人	二一九、九八四	一四・〇
朝鮮人	六、九六三	〇・五
滿洲人	一、三二七、九九七	八五・二
外國人	一、六五〇	〇・一
計	一、五四六、五九四	一〇〇・〇

(地方別)總人口を地方別即ち大連市、旅順市、旅順民政署、金州民政署、普蘭店民政署及貔子窩民政署別に觀ると大連市は七四六、七四一人(總數の四割八分)、旅順市は四一、九三五人(三分)、旅順民政署は一七二、一九八人(一割一分)、金州民政署は一九〇、七三二人(一割二分)、普蘭店民政署は二一六、七八七人(一割四分)、貔子窩民政署は一七八、二〇二人(一割二分)であつて大連市で最も多く、旅順市が最も少い。之を前月に比すると大連市は一、六五九人(人口千に付二人)、旅

順市は二六六人(人口千に付三人)、旅順民政署は三四八人(人口千に付二人)、金州民政署は七八五人(人口千に付四人)普蘭店民政署は七四八人(人口千に付三人)を孰も増加したが、貔子窩民政署のみは七二五人(人口千に付四人)を減少した。又前年同月に比すると大連市は五五、二五二人(人口千に付八〇人)、旅順市は二、五五〇人(人口千に付六五人)、旅順民政署は八、五〇九人(人口千に付五二人)、金州民政署は一、七六四人(人口千に付七二人)、普蘭店民政署は八、五二九人(人口千に付四一人)、貔子窩民政署は三、〇五〇人(人口千に付一七人)を孰も増加した。

日本		外國		計	
地方別	内地人	朝鮮人	滿洲人	外國人	計
大連市	一、九四九	一、六〇二	一、四六四	七、四七一	一、四〇三
旅順市	一、四七七	三三三	二、七八	四、九三三	三〇
旅順民政署	一、五〇	三二七	一、九二	一、七二六	二二
金州民政署	四三三	一六三	一、六三〇	三、九〇七	一三
普蘭店民政署	三五四	一六	三、四〇九	一、二六七	一四〇
貔子窩民政署	一、六五	三六	一、六三九	〇	一七、三三二
總計	三、九六四	六、九三	一、三三〇	一、四〇六	一、〇〇〇

(大連市)大連市の總人口は七四六、七四二人で前月に比し一、六五九人、前年同月に比し五五、二五二人を孰れも増加した。

總人口を男女に分つと男四六五、六四九人(總數の六割二分)、女二八一、〇九二人(三割八分)で女百に付男一六五・七人の高率である。之を前月に比すると男は

五三三人(人口千に付一人)、女一、一三六人(人口千に付四人)を、又前年同月に比すると男は三四、五八二人(人口千に付八〇人)、女は二〇、六七〇人(人口千に付七九人)を孰も増した。

更に之を國籍別に觀ると滿洲人最も多く五四三、六九〇人で總數の七割三分を占め、亞いで内地人は一、九四九五人で二割六分、朝鮮人は六、〇九二人で一分、外國人は一、四六四人で零分の順位である。之を前月に比すると滿洲人は一、〇五七人(人口千に付二人)、内地人は二三人(人口千に付一人)、朝鮮人は三五六人(人口千に付六人)、外國人は一五人(人口千に付一人)を孰も増加した。又前年同月に比すると滿洲人は三九、四一〇人(人口千に付七九人)、内地人は六、七五五人(人口千に付三六人)、朝鮮人は八八三人(人口千に付一六九人)を孰も増加したが、外國人のみは二二八人(人口千に付九二人)を減少した。

大連市人口

國籍	男	女	計	女百に付男
内地人	一、〇三六	九、三三三	一、九六九	一一〇・六
朝鮮人	三、二九〇	三、八〇三	六、〇九三	一一七・四
滿洲人	三、八三六	一、八四九	五、六八五	一九三・三
外國人	六三三	七二	一、四〇五	八八・八
計	八、七九四	一、六六〇	一〇、四五四	一六五・七

(旅順市)旅順市の總人口は四一、九三五人で前月に比し二二六人を、又前年同月に比し二、五五〇人を孰も増加した。

總人口を男女に分つと男は二四、七六八人(總數の五

割九分)、女は一七、一六七人(四割一分)で女百に付男一、四四三人高率である。之を前月に比すると男は五八八人(人口千に付二人)、女は六八八人(人口千に付四人)を増加した。又前年同月に比すると男は一、六〇四人(人口千に付六九人)、女は九四六人(人口千に付五八人)を孰も増加した。更に之を國籍別に觀ると滿洲人最も多く二七、一八八人で總數の六割四分を占め、亞いで内地人は一四、三三七人で三割五分、朝鮮人は三三三人で一分、外國人は一七人で零分の順位である。之を前月に比すると滿洲人は八二人(人口千に付三人)、内地人は三九人(人口千に付三人)、朝鮮人は五人(人口千に付一人)を孰も増加したが、外國人のみは増減がない。又前年同月に比すると滿洲人は一、九四七人(人口千に付七人)、内地人は五、五八四人(人口千に付四二人)、朝鮮人は一七人(人口千に付五〇人)、外國人は二人(人口千に付一三人)を孰も増加した。

旅順市人口

國籍	男	女	計	女百に付男
内地人	七、九四六	六、四三三	一四、三七九	一二三・五
朝鮮人	一、七五	一、七六	三、五一	九三・三
滿洲人	一、六三九	一、〇五九	二、七〇八	一七五・七
外國人	八	九	一七	八八・八
計	一〇、三三八	九、二五九	一九、五九七	一一一・〇

人口問題研究第3卷第8號正誤表

1頁 第8表 女 觀察數 5, 6 段目

1 0-2 50 } 59 の誤り

3-5 180 } 80